

事務事業	11004	病児保育事業	担当課	子育て支援課	担当係	保育係
計画 画期 体計 系画	施策	05	子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会 計 款 項 目	1 3 4 1
	取り組み方針	130	子育てしやすい保育環境を整える		一般会計	民生費
					児童福祉施設費	児童福祉施設総務費
					個別計画	
法令根拠条例等						
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	H14 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
病児(比較的軽症)またはその回復期で集団保育が困難な小学校6年生までの児童を、病院に付設された専用スペースにおいて一時的に預かる。須恵町・宇美町・志免町の3町による広域実施事業である。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		
委託先病院で登録等の諸手続きを行っており、また補助金の申請は3町を代表して宇美町が行っているため、当町での事務は委託料の支払だけである。		
主 な 事 業 費 の 内 訳	病後児保育負担金	639 千円
		千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務事業の目的	① 手段(主な活動)	30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 契約締結し、委託料分担金を宇美町に支払った。	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値			
	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	病児(比較的軽症)またはその回復期で保育園等での集団保育が困難な就学前～小学校6年生までの子どもを持つ保護者	名称	単位	29年度	30年度	31年度
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)	子どもの病気を理由に勤務を休まざるを得なかった保護者の不安を解消することで、育児と仕事の両立の手助けとなる。	ア 利用者数	人	66	83	83 (見込)
			イ 利用回数	回	77	99	99 (見込)
			ウ				(見込)
				⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	指標数値		
			名称	単位	29年度	30年度	31年度
			ア 就学前の児童数	人	2,971	2,886	2,919 (見込)
			イ				(見込)
			ウ				(見込)
			⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	指標数値			
			名称	単位	29年度	30年度	31年度
			ア 利用率(人数) [利用者数÷(開所日×定員4人)]	%	目標 10.0 実績 31.0	10.0 36.0	10.0
			イ 利用率(日数) [利用があった日数/開所日]	%	目標 30.0 実績 65.0	30.0 73.0	30.0
			ウ		目標		
					実績		
			エ		目標		
					実績		
			オ		目標		
					実績		

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	626	610	639	650	650	650
		合計(A)	626	610	639	650	650	650
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	188	359	328	349			
トータルコスト(A)+(B)	814	969	967	999	650	650		

# 事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
小学校3年生までの児童が病気(比較的軽症)またはその回復期のため自宅での育児を余儀なくされる期間、一時的に子どもを預けることができる施設の要望が保護者及び議会からあった。そこで、当事業をすでに実施していた宇美町に志免町・須恵町が加わり、平成14年4月より3町広域で事業を実施することとなった。平成27年4月から対象を就学前から小学6年生のまでの子どもを持つ保護者に拡大した。	共働き家庭、ひとり親家庭が増えている中で、子どもが病気になった時に預ける場所がない家庭が多くなってきている。どうしても仕事が休めない親にとって「病児・病後児保育」の必要性はとても高いものになっている。	3町で一医院に委託しているが、一日に利用できる定員が少ないため流行期には予約が取りづらいうことと、委託先病院が町外のため、利用しづらいという意見が住民より寄せられた。

## (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	志免町内で同サービスの開始を求められており、平成30年度も引き続き、医師会や事業所等と協議を重ねる。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません)  <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	町内の事業所等における病児保育について、30年度内の事業開始には至らなかった。

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部\* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	病気や病気回復期に自宅での育児を余儀なくされる間、一時的に子どもを預けることができる施設の利用が可能のため、安心して仕事ができ、子育てができる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	次世代を担う子どもたちのよりよい保育環境を支援していく必要がある。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	委託先の小児科が宇美町にあるため、利用者には不便であり、また、一日の利用定員が4人までであり、かつ、感染症を患った児童の受け入れについては、同じ感染症児の受け入れのみとしているため、利用が制限される時がある。委託先を1箇所増やせるよう医師会と協議を進める。
<b>評価</b> ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	代替事業がないため、廃止・休止となった場合には勤務を休まざるを得ない保護者が出る。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	3町の負担総額は、国補助基準額どおりである。また、各町の負担割合は、利用者数に応じて按分している

### (2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

平成29年度に比べて病児保育利用児童が増加し、病児保育については、福岡都市圏で相互利用についての検討が始まった。志免町内での病児保育実施施設がないため、利用者には不便であることや一日の利用定員が4人までの制約があり、かつ、感染症を患った児童の受け入れについては、同じ感染症児の受け入れのみとしているため、利用が制限される時がある。相互利用の検討と同時に委託先を増やせるよう関係各所と協議を進める。

## 3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

<b>(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)</b> <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<b>(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果</b> 福岡都市圏の相互利用の協議と同時に、志免町内での病児保育開始について、平成31年度も引き続き、医師会や事業所等と協議を重ねる。
---	---